

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	産業コミュニティ創出事業			会計	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課		
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	渋谷 俊之		

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、農商工事業者	意図	農商工連携を枠組みとした産業づくりについて検討し、新たな流山ブランドを構築する。
事業内容	様々な異業種の事業者が情報を持ち寄り、交流する場を設けることを目的にしている。これにより、新たな事業の創出や新たな雇用創出が図られ、本市の産業振興が発展していくものと考えている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年4月10日付け、流山市産業振興審議会から「農商工連携の推進及び商店街活性化の具現化策について」答申があったことから、千葉県、千葉県産業振興センター、商工会議所、農業振興課、商工振興課が連携し、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、有機的な連携を検討している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						農商工連携を枠組みとした産業づくりについて検討し、新たな流山ブランドの構築や地産地消、地産外消等を推進するため、まずは、農業・商業事業者によるきっかけづくりのための機会を創出するため交流会を開催した。交流会の開催により、農業者と商工業者の信頼関係を得ることができた。
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	農商工連携を枠組みとした産業づくりについて検討し、新たな流山ブランドの構築や地産地消、地産外消等を推進するため、まずは、農業・商業事業者によるきっかけづくりのための機会を創出するため交流会を開催した。交流会の開催により、農業者と商工業者の信頼関係を得ることができた。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		753,000	686,500				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	交流会等の開催と信頼関係の構築	取組の課題	農業者と商工業者の強みを活かした新商品の開発や販路開拓
今年度(H28)に実施した取組	「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催した。	今後の改善計画	お互いが有機的に連携し、互いの経営資源を持ち寄り、新規に事業に着手できるように支援する。